

# 森林遺伝育種学会設立総会

日時 2012年3月29日 9:00~10:00

場所 宇都宮大学（基盤教育D棟4階 1447教室）

## 次第

1. あいさつ

2. 趣旨説明

3. 議事

- |                      |        |
|----------------------|--------|
| 1) 会則の承認について         | 資料1、2  |
| 2) 会長の選任について         |        |
| 3) 会務の執行体制と役員の選任について | 資料3    |
| 4) 2012年度事業計画        | 資料4    |
| 5) 2012年度予算について      | 資料5    |
| 6) 会費の徴収について         |        |
| 7) 会誌の発行について         |        |
| 8) その他               | 資料6、参考 |

## 森林遺伝育種学会 会則（案）

### 第 1 条 名称

本会は「森林遺伝育種学会(Japanese Society of Forest Genetics and Tree Breeding)」と称する。

### 第 2 条 目的

- 1) 森林に係わる遺伝と育種を考究する者に対して、研究発表及び情報交換の場を提供すること。
- 2) 森林・林業分野における森林遺伝育種に関する情報とその社会的展開の重要性を広く社会に発信し、日本の森林の持続的発展に寄与すること。

### 第 3 条 事業

前条の目的達成のため以下の事業を行う。

- 1) 学会誌の刊行
- 2) シンポジウム・研究会の開催
- 3) 会員の表彰
- 4) その他目的の達成のために必要な事業

### 第 4 条 会員

本会は、本会の目的に賛同する者（普通会员、学生会員、団体会員、賛助会員）を以て構成する。

### 第 5 条 役員

本会に次の役員を置き、会の運営にあたる。

- 1) 会長：学会を代表し、会務を統括する。
- 2) 理事（若干名）：学会運営の方針決定および運営の実務を担当する。
- 3) 監事（2名）：会計を監査する。

### 第 6 条 役員を選出と任期

- 1) 会長：会長は会員の互選により会員中から選出する。
- 2) 会長の任期は 2 年とし、再任は 1 回に限り妨げない。
- 3) 理事は会長が会員中より指名する。
- 4) 理事の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

#### 第7条 総会および理事会

- 1) 総会および理事会は会長が招集する。
- 2) 総会は原則として年一回開催し、会務を審議決定する。総会の議決は、出席会員の過半数による。
- 3) 理事会は、会長及び理事により構成し年一回以上開催する。

#### 第8条 経費

本会の経費は、会費、寄付金、その他によって充当する。

なお、会費の年額は以下のとおりとする。

普通会員 5000 円

学生会員 1000 円

団体会員 10,000 円

賛助会員 1口 10,000 円

#### 第9条 その他

その他必要な事項は、理事会において決定する。

## 森林遺伝育種学会運営内規(案)

1. 本会の円滑な運営のため次の委員会を設置する。
  - 1) 総務委員会 各種事業の企画、実行。会員管理。会計事務（会費の徴収、予算、決算、支出）を取り扱う。
  - 2) 編集委員会 会誌の編集、シンポジウム、研究発表会の具体的内容の検討を行う。
  - 3) 出版・広報委員会 会誌の HP への掲載と印刷出版、会員全体への各種連絡を取り扱う。
2. 総務委員会に次の担当を置く。
  - 1) 企画・表彰担当 各種事業の企画および表彰事業の実行を担当。
  - 2) 庶務担当 関連団体との連絡・調整、会員向け広報のとりまとめ及び会員名簿の管理、会費の徴収、会計実務を担当。
3. 出版・広報委員会に次の担当を置く。
  - 1) 出版担当 雑誌のホームページへの掲載及び製本して出版の実務を担当。
  - 2) ホームページ担当 ホームページの管理及び電子ジャーナル、各種通知文のホームページへの掲載を担当。
4. 各委員会の委員長及び担当は本会の理事とする。

## 森林遺伝育種学会会長選挙に関する内規(案)

1. 選挙の期日  
会長任期満了の 3 か月前までに実施する。
2. 候補者  
会員 5 名以上の推薦を受けた者を以て候補者とする。
3. 選挙の方法  
選挙は総務委員会が所掌する。  
候補者が複数名の場合は、郵送による投票を行い、得票数の最も多かった者を会長とする。  
得票数が同数の場合は年長者を以て会長とする。  
候補者が 1 名の場合は、信任投票を行い、投票数の過半数を以て信任とする。  
投票は無記名とする。
4. その他  
本内規は、第 2 代会長の選出より適用する。

## 会計規定（案）

### 予算

1. 経費 本会の運営に必要な経費は会費および寄付金、その他によって賄う。
2. 会計年度 4月1日を期首とし3月31日を期末とする。
3. 予算 会長の指示に基づき、総務委員長が年度ごとに予算案を作成し、総会において承認を得る。
4. 会計費目 出版広報費、事業費、管理費、その他とする。
5. 会計監査 年度ごとに収支を総括し、監事による監査を受け、その結果を総会に報告する。

### 予算の執行

1. 予算に従って執行する。
2. 各委員会は予算の範囲内で効率的な事業実行に心掛ける。
3. 事業実行に必要な経費の支出については、庶務担当の決裁を必要とする。具体的には、見積もりを徴し庶務担当に支出の許可を得ることとする。

### 資金の管理

1. 会費その他経費の受け入れのため、郵便振替口座を設ける。
2. 会費、その他の資金は、普通預金口座を設け管理する。
3. 上記の口座等は、総務委員長が管理する。

### 寄付金

1. 寄付金は理事会の議を経て受け入れることができる。

## 資料 3

## 理事及び会務の執行体制（第1期 2012.4~2014.3）（案）

役職及び委員会	職務	スタッフ
①会長（白石 進）	学会を代表する。会務を統括する。	
②総務委員会 委員長（理事・井出雄二）	各種事業の企画、実行。会員管理。会計事務（会費の徴収、予算、決算、支出）	
企画・表彰担当 （理事・吉丸博志）	各種事業の企画および表彰事業	
庶務担当 （理事・石井克明）	関連団体との連絡・調整、会員向け広報のとりまとめ。 会員名簿の管理、会費の徴収、会計実務	
③編集委員会 委員長（理事・戸丸信弘）	会誌の編集、シンポジウム、研究発表会の具体的内容の検討	
④出版、広報委員会 委員長（理事・近藤禎二）	会誌の HP への掲載と印刷出版、会員全体への各種連絡	
出版担当 （理事・渡邊敦史）	雑誌の WEB 掲載および発行。会員へ送付。	井城泰一
HP 担当 （理事・吉村研介）	WEB 管理。（雑誌、各種通知文の掲載）	
監事・後藤晋、西川浩己	会計の監査	

## 2012 年度事業計画

## 1. 会誌の発行

## WEB

原則年 4 回（4 月、7 月、10 月、1 月）

今年度に限り 1 回（10 月）

冊子体 年 1 回（12 月 31 日発行）

## 2. 研究発表会の開催

11 月 8 日（木）東京大学弥生講堂アネックス

ポスター発表形式

## 3. シンポジウム（森林学会大会時）

## 4. ホームページの構築

## 5. その他

## 森林遺伝育種学会 2012 年度予算案

項目	金額	内訳
1. 収入		
会費	500,000	@5000 × 100 人
計	500,000	
2. 支出		
出版広報費	362,000	ホームページ管理費 150,000 会誌印刷費 200,000 メール便@80×150
その他事業費	50,000	総会等会場費
管理費	38,000	事務連絡@80×100 封筒、その他消耗品
予備費	50,000	
計	500,000	

## 2012年度会務執行スケジュール

時期		会計	サーバー	ホームページ	会誌	PDF	出版	大会(研究発表会)	総会・シンポジウム
4月	上旬	口座開設	使用申請	デザイン	編集委員会(東京)		ISSNの取得準備	案内	
	中旬							助成申請	
	下旬	会費納入案内			原稿募集・原稿依頼				
5月	上旬						ISSN申請		
	中旬								
	下旬		使用開始	開設					
6月	上旬			大会案内掲載					
	中旬								
	下旬								
7月	上旬								
	中旬								
	下旬	会費納入期限							
8月	上旬			大会申込み案内					
	中旬								
	下旬								
9月	上旬							大会申込締切	シンポジウム計画
	中旬				掲載原稿決定Vol.1(1)				講演依頼
	下旬				原稿募集・原稿依頼	体裁整理・PDF化			助成申請
10月	上旬			会誌掲載Vol.1(1)					
	中旬							大会要旨集作成	
	下旬			大会要旨掲載					森林学会申込み
11月	上旬			シンポジウム予告			Vol.1印刷原稿整理	大会開催	
	中旬								
	下旬						印刷発注		
12月	上旬								
	中旬				掲載原稿決定Vol.2(1)				
	下旬				原稿募集・原稿依頼	体裁整理・PDF化			
1月	上旬			会誌掲載Vol.2(1)			Vol.1発送		
	中旬								
	下旬								
2月	上旬								
	中旬								
	下旬			総会シンポジウムジ					
3月	上旬								総会準備
	中旬				掲載原稿決定Vol.2(2)				
	下旬				原稿募集・原稿依頼	体裁整理・PDF化			総会(盛岡)・シンポ
4月	上旬			会誌掲載Vol.2(2)					
	中旬								
	下旬	会費納入案内							

## 「森林遺伝育種」投稿規定（案）

1. 投稿資格 投稿は会員に限るただし、編集委員会が認めたときはこの限りでない。また、筆頭著者以外の著者には非会員を含むことができる。
2. 原稿内容 原稿は森林の遺伝、林木育種に関連する分野を扱ったものとし、未発表のものに限る。
3. 原稿の種別 原稿は、論文、総説、解説、話題、講座、資料、その他とし、和文とする。
4. 原稿の採否 原稿の採否は編集委員会が決定する。
5. ページ数制限 原稿の長さは原則として、4ページとする。やむを得ない場合に限り6ページまで認める。
6. 投稿方法 投稿原稿は、別途定める執筆要領に従って作成し、電子ファイルにより編集委員会あての電子メールに添付して送付する。
7. 校正 著者校正是初校に限り、誤植の訂正にとどめる。
8. 著作権 本誌に掲載された記事の著作権は本会に帰属する。著者は、原稿採用の連絡を受けたときは、著作権を本会に譲渡するものとする。著作権譲渡承諾書に署名の上、編集委員会あて郵送する。転載等記事の利用にあたっては、編集委員会に申し出、許可を得ること。
9. 別刷 別刷は作成しない。著者に限って、本誌のPDFファイルの個人的な配布を許可する。
10. 連絡先 投稿、原稿校正、著作権に関する問い合わせは、森林遺伝育種学会編集委員会（e-mail）宛とする。

## 「森林遺伝育種」執筆要領（案）

1. 原稿の形式 論文、総説は、(1)表紙に、原稿の種別、表題、著者全員の氏名（姓名を略さず、よみがなを付す）、所属、所在地をいずれも和英併記し、連絡先著者のメールアドレス、(2)和文と英文の要旨および5語以内のキーワード、(3)本文、(4)引用文献、(5)図題と説明、(6)図、(7)表をそれぞれ別ページに記載する。それ以外の原稿については特に様式を定めないが、編集委員会が必要な情報を求めることがある。
2. 表題 表題は編集委員会の判断により修正を求めることがある。
3. 要旨 和文要旨は400字程度、英文要旨は200語程度とする。
4. 原稿
5. ファイル 原稿はA4版とし、MS-Word形式の電子ファイルとする。図はjpegファイ

ルとする。

6. 表記 仮名遣いは現代仮名遣いとし、学術用語以外は常用漢字を用いる。原稿中に欧語等を用いるのは、その必要がある場合に限る。動物・植物の名前はカタカナ書きとし、学名はイタリックとする。単位は SI 単位とする。外字や機種に依存する文字は用いてはならない。
7. 図・表 図・表の表題には図-1、表-2 のように、それぞれ通し番号を付す。表は 1 ページ以内に収まり鮮明に読み取れることとし、縦罫は省き、横罫も極力省く。
8. 引用文献 引用文献は著者名のアルファベット順に記載し、同一著者による同一年に発表されたものについては、年の後に発表順に a, b, c・・・を付す。本文中では、松本 (2010)あるいは・・・・(松本 2010)のように、人名に年を付して引用する。記載方法は、以下の例に従う。

#### 例

##### a. 雑誌

松本麻子 (2010) コナラ・ミズナラ・カシワの樹種識別と種間雑種の検出—  
AFLP マーカーを利用して—。林木の育種 234 : 9-12

Katsuki T, Shimada K, Yoshimaru H (2011) Process to extinction and  
genetic structure of a threatened Japanese conifer species, *Picea*  
*koyamae*. J For Res 16: 292-301

##### b. 書籍

長谷川正美・岸野洋久 (1996) 分子系統学. 岩波書店

White TL, Adamas WT, Neale DB (2007) Forest Genetics. CABI  
Publishing

##### c. 書籍中

生方正俊 (2011) 森の樹木の品種改良. (北海道の森林. 北方森林学会編, 北  
海道新聞社) . 242-248

Ohsawa T, Saito Y, Ide Y (2009) What factors and process cause the local  
intra-specific differentiation of *Quercus* in mountainous areas through  
the repeated process of regeneration? In: Forest Regeneration: Ecology,  
Management and Economics. Fournier MV (ed), Nova Science  
Publishers, 49-70